

<p>【技術の名称】 TQ-MIX構法 ー東急建設式柱RC梁S構法ー (改定2)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第15-21号 改2 性能証明発効日：2021年2月15日</p> <p>【取得者】 東急建設株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造の柱（以下、RC柱）と鉄骨造の梁（以下、S梁）との接合構法である。S梁は柱梁接合部を貫通させ、柱梁接合部の外周に鋼製のふさぎ板を配し、接合部内の帯筋は省略される。なお、ふさぎ板は、その内面に突起（コッター）を設ける仕様とコッターを設けず内面が平滑な仕様の選択が可能である。

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第15-21号（2015年12月3日）
 改定1：GBRC 性能証明 第15-21号 改1（2018年4月16日）
- ・寸法の規定の拡大（柱梁断面寸法比）
 - ・鋼材の規定の拡大（大臣認定材料でF値 355N/mm²以下）
 - ・適用架構の追加（ブレース付きラーメン構造）
 - ・設計条件の変更（引張軸力柱への適用、ふさぎ板内面のコッター設置条件）
- 改定2：GBRC 性能証明 第15-21号 改2（2021年2月15日）
- ・接合部をPCa化する場合の留意点を構造設計・施工指針に追記

【技術開発の趣旨】

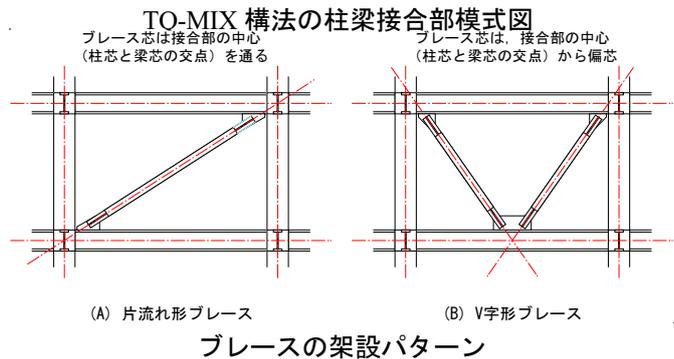
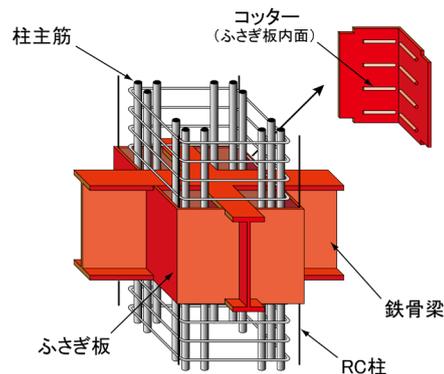
本技術は、柱を水平剛性が高く軸力保持に有利な鉄筋コンクリート造、梁を軽量で大スパンにも対応できる鉄骨造とする合理的な混合構造架構を成立させ、設計で要求される構造性能を担保しつつ、工事の省力化や工期短縮、施工費用の縮減に対応できる構法を実現することを意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「TQ-MIX 構法 構造設計・施工指針」に従って設計・施工されたRC柱S梁接合部は、同指針で

保証すべき長期荷重時および短期荷重時の要求性能を満足するとともに、同指針で定める終局耐力ならびに変形性能を有する。



実大規模の架構実験 (3層2スパン)

【本技術の問合せ先】

東急建設株式会社 担当者：佐藤 良介
 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名 3062-1

E-mail：satou.ryousuke@tokyu-cnst.co.jp
 TEL：042-763-9511 FAX：042-763-9504